2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	人間力概論（Survey of Human Aptitude）		
ナンバリングコード	B10301	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎（教育）科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A030605	クラス名	－
担当教員名	髙見　大介、坂井　美穂、吉村　充功、藪内　聰和、村中　博幸		
履修上の注意、 履修条件	○本学の教育理念の一つ「人間力の育成」の基礎となる重要科目です。真剣に受講して下さい。 ○本授業はメディア授業です。原則として動画をあらかじめ収録して時間割上の正規の時間に配信するオンデマンド型です。ライブ授業がある場合は事前に告知します。 ○次回授業の正規開始時刻までに全ての動画視聴と提出物提出を持って「出席」になります。 ○遅刻・公欠の取り扱いは原則ありません（長期欠席などの場合は別途対応）。		
教科書	特になし（必要に応じてプリントを配布もしくはデータで配信）		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	産学一致の勧め、ジェネリックスキル養成1・2、現代社会要論（工経のみ）、社会参画応用・実習2（工経のみ）、リーダーシップ概論（工経のみ）、その他すべての科目		

○基本情報		
授業の目的	本学における教育の特徴は、建学の精神「産学一致」に基づき産業界が要請する人間力を育成することにあります。この「人間力の育成」が本学の教育理念の一つであり、学生にはその能力の修得が求められます。本学の人間力教育は社会、地域に出て活躍するための素養となる基礎的能力と汎用的な能力、基盤となるより良く生きるための力の育成を目指しています。 本科目は「自分らしさを見つけ、人間関係を築くための知識とこころの力」をつける最初の導入となる科目です。したがって、(1)人生のベースとなる「生命（いのち）」あるいは「生きる」ということについて、社会や地域との接点から自分の役割を強く意識させ、「人間として現代社会をどう生きるか」を自分なりに考えられるようになること、(2)ウェルビーイングを意識し、自分自身の価値や能力を認識し肯定するこころの力を磨くことを目的とします。本学卒業までに修得すべき能力の基盤となる力を養います。	
授業の概要	「人間として現代社会をどう生きるか」「よき市民として地域社会をどう生きるか」をその意義や考え方について、各教員が様々な切り口から講義します。学生諸君に「自分らしく生きること」を強く意識させ、さらには大学生活を通じ、そして社会に出てからも「自分らしい生き方」を探究し続けていくためのきっかけとなる講義を目指します。 一部の回では「表」や「グラフ」を扱い、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（MDASHリテラシーレベル）」の「データを読む」等に準拠して講義します。データを適切に読み解く力を養います。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	村中博幸（病院での実務経験）：複数の病院で診療放射線技師としての実務経験があり、本授業では、その経験を活かした保健医療と人間力の関わり等について教授します。	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100%）		
到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【ディプロマ・ポリシー①】	社会に関心を示し、人間として現代社会を力強く生きようとする意欲を身に付けている。		20%	
【ディプロマ・ポリシー②】	人間として現代社会や地域社会をどう生きるかを自分なりに考え、その考えを適切に表現する力を身に付けている。		60%	
【ディプロマ・ポリシー③】	社会で求められている人間力が何かを理解し、身に付けている。		20%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPに準じています。

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
○すべての配信物は本科目のGoogle Classroomから行います。 ○受講に関する注意事項 1．本授業は原則として動画をあらかじめ収録して時間割上の正規の時間に配信するオンデマンド型です。ライブ授業がある場合は事前に告知します。 2．受講は翌週の授業の正規開始時刻までに以下のすべてを完了することで「出席」となります。 （1）「出席確認」への回答（Googleフォームから） （2）「授業動画」の視聴（複数本の投稿の場合あり） （3）その他アンケートなどへの回答（ある場合。Classroomの質問機能やGoogleフォーム等から） （4）「課題」の提出（Googleフォームから）　※手書きでの提出はできません ※締切時刻はGoogleサーバ内の時刻になります。余裕を持って提出すること。 3．遅刻・公欠の取り扱いは原則ありません（長期欠席などの場合は別途対応）。 4．正規の授業時間内はClassroomの「出席確認」の「限定公開のコメント」欄を通じて、リアルタイムで学生からの質問に回答します（それ以外の時間は回答にタイムラグが生じます）。 5．限定公開ではなく「クラスのコメント」欄に記入すると受講生全員に内容が開示されますので注意してください。 ○メディア授業

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	人間力概論（Survey of Human Aptitude）	授業コード	A030605
	担当教員	高見　大介、坂井　美穂、吉村　充功、藪内　聰和、村中　博幸		

学修内容

1. スタートアップセミナー、再履修生等オリエンテーション		
予習	シラバスを熟読して下さい。人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約2.0h）
復習	シラバスを熟読して下さい。人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約2.0h）
2. 授業概要説明、担当者紹介、科目意識アンケート実施 授業の概略、進め方、到達目標、成績評価の方法等を説明します。本科目はオムニバス形式であることから担当各教員の紹介、担当回の内容の概略を説明します。人間力に対する現時点での認識をGoogleフォームで調査します。 （ライブ授業の予定）		
予習	シラバスを熟読して下さい。人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
3. 本学における人間力教育とは（自校教育）①（ゲスト） 学長から新入生へのメッセージ。本学で伸ばしてほしい人間力などについて講義があります。		
予習	本学の教育理念を調べて下さい。人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
4. 本学における人間力教育とは（自校教育）②（ゲスト、村中） 所属する各学部の学部長から新入生へのメッセージ。本学で伸ばしてほしい人間力などについて講義があります。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
5. PROG（コンピテンシーテスト）・プチnEQテスト 現在の皆さんの人間力を客観的に測るため、PROG(コンピテンシーテスト）とプチnEQテストを実施します。自身の現時点での人間力を知り、これからの大学生活4年間でしっかり人間力を伸ばすようにします。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約2.0h）
復習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約2.0h）
6. ボランティアと人間力①：現代社会を生き、未来を創るための人間力（高見） ボランティア学習の観点から、実経験に基づく人間力を構成する力について考えていきます。私たちが生きる現代はVUCA（予測不能）の時代といわれます。グローバルに物事を考えていくことは、国内外の文化や歴史を理解することにもつながります。議論と対話、これからのリーダーを切り口に、自分の成長に向けて、これからの大学生活の過ごし方を考えるキッカケにします。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
7. ボランティアと人間力②：自分と世界はつながっていると考えられる人間力（高見） 前週に引き続き、実経験に基づいたこれから身に付けるべき人間力について考えていきます。なぜ学ぶのか、何を学ぶのか、人間力につながる様々な事例の紹介を通じて考えていきます。持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。この切り口でも人間力の必要性を考えていきます。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
8. ボランティアと人間力③：人間力が育まれる瞬間・発揮される瞬間（高見） 前週に引き続き、実経験に基づいたこれから身に付けるべき人間力について考えていきます。東日本大震災での事例等を通じて、大学生（青年）の存在が社会にとってどのような価値があるのか考えています。皆さんが生きるこれからの世界で人間力を発揮する重要性やこれから実践するための理解を深めます。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）

○授業計画	科 目 名	人間力概論（Survey of Human Aptitude）	授業コード	A030605
	担当教員	高見　大介、坂井　美穂、吉村　充功、藪内　聰和、村中　博幸		

学修内容

9.「幸せ」を求めて①（藪内） 「幸せ」とは何かについて哲学の視点から考えていきます。そして、どのようにしたら幸せになれるか考えていきます。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
10.「幸せ」を求めて②（藪内） 前週に引き続き、「幸せ」とは何かについて哲学の視点から考えていきます。「働く」ことを、単に報酬を得るための手段であると思っている人も多いようです。しかし、「働く」ことは、人間の本質であり、充実した人生は、生き生きと「働く」ことによって可能になると考えることもできます。そこで、この授業では個人と社会と幸福のつながりについて考察します。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
11. 保健医療と人間力（村中） まず画像診断技術の進歩をテーマに医療で使用されている放射線について学びます。次にチーム医療と求められる人間力をテーマに、高齢者福祉の現状と将来の紹介、これからの医療における医療技術者の使命と役割を考えます。最新の医療現場には様々な先進技術が使用されていたり、マネジメントの考え方が浸透しています。医療技術者となる保健医療学部生だけでなく、工学部生や経営経済学部生にとっても、医療現場や技術の変化を知ることで、人間力や自身の専門性の活かし方を考えるキッカケとして下さい。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
12. 現代社会と人間力①　【MDASH】（吉村） 1週目－いまなぜ人間力か？企業が若者に求めることと社会の変化（データサイエンスプログラム（データを読む1）） 現代は予測不可能な社会、Society 5.0社会だと言われています。そのため、学校で習った知識だけを修得しているだけでは社会では活躍ができません。全国で行われた様々な調査データをもとに、現代社会、Society5.0社会で必要な人間力や社会人基礎力について理解を深めます。数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）（MDASHリテラシー）プログラムとして、データを適切に読み解く力も養います。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
13. 現代社会と人間力②　【MDASH】（吉村） 2週目－先輩達の活躍と大学で学ぶ意義／現代社会と学問の関わり方（データサイエンスプログラム（データを読む2）） 本学卒業生の就職先調査結果をもとに、本学卒業生が身につけている能力・不足する能力を読み取り、必要な能力と大学で学ぶ意義を理解します。あわせて、数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）（MDASHリテラシー）プログラムとして、データの種類、データの分布と代表値、母集団と標本抽出などについても解説します。現代社会・地域社会とこれからの学問の関わり方として、移動課題（交通問題）を例に考えていきます。		
予習	人間力に関する時事を新聞等で調べて下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
14. 地域社会と人間力、人間力の伸ばし方（PROG解説）【MDASH】（吉村） 3週目－地方創生と本学の存在意義、若者に求められること（データサイエンスプログラム（データを読む3）） 現代は地方の時代とも言われていますが、人口問題、少子高齢化問題をデータをもとに紐解き、地域で何が起きているのか、地域における学生活動の意義や、地域社会で生きていくために必要な社会との関わり方について理解します。また、第5週で実施したPROGの結果について、読み解き方を解説するとともに、今後の行動計画の立て方について解説します。数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）（MDASHリテラシー）プログラムとして、データを適切に読み解く力も養います。		
予習	第5回のPROGの自身の結果とこれまでの授業内容を振り返って下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
15. まとめ（シンポジウム） 本授業の総括として、全担当者と学生の皆さんがシンポジウム形式で、現代社会で生きる意味について考えます。 （ライブ授業の予定）		
予習	これまでの学修内容をふり返って下さい。	（約1.0h）
復習	学修内容について復習を行い、今回の課題及び最終のレポート課題（Googleフォーム）に取り組んで下さい。	（約3.0h）
16.		
予習		
復習		